

# 7000 (RP) シリーズの ROMmon 回復手順

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ROMmon 回復手順](#)

[詳細手順](#)

[ブートイメージおよび Trivial File Transfer Protocol \(TFTP\)サーバを使用したダウンロード別のルータを使用した有効な Cisco ISO ソフトウェア イメージの PCMCIA カードへの移動](#)  
[関連情報](#)

## [はじめに](#)

このページでは ROMmon(rommon #> プロンプト)で動かなくなった 7000(RP) シリーズ ルータの回復方法を説明しています。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

この資料で使用された出力は RP モジュールを持つ Cisco 7000 ルータでテストされました。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

# ROMmon 回復手順

## 詳細手順

次に示す手順に従ってください。

1. **dev** コマンドを発行して、ルータ上で使用可能なデバイスを確認します。

```
>dev
```

```
Devices in device table:
```

```
id name
```

```
flash: internal flash
```

2. 次に、**dir[device ID]** コマンドを実行し、有効な Cisco IOS(R) ソフトウェア イメージを調べます。

```
>dir flash:
```

File size	Checksum	File name
4105078 bytes (0x3EA376)	0x9D5F	gs7-j-mz.111-30.CA.bin
26545 bytes (0x67B1)	0xD93F	crashinfo

```
>
```

3. Cisco IOS ソフトウェア イメージを見つけたら、**i** コマンドを使用してルータを起動します

```
o
```

```
>i
```

```
System Bootstrap, Version 11.1(12), SOFTWARE Copyright (c)
```

```
1986-1997 by cisco Systems
```

```
RP1 processor with 16384 Kbytes of main memory
```

```
F3: 8552+3996660+165008 at 0x1000
```

```
Self decompressing the image : #####...
```

4. ルータが起動しなければ、そのイメージは壊れています。以下に示す手順のうちいずれか 1 つを選んで、新しいイメージをダウンロードする必要があります。[ブートイメージおよび Trivial File Transfer Protocol \(TFTP\)サーバを使用したダウンロード別のルータを使用した有効な Cisco ISO ソフトウェア イメージの PCMCIA カードへの移動](#)

## ブートイメージおよび Trivial File Transfer Protocol (TFTP)サーバを使用したダウンロード

RP がある 7000 は ROM にブート イメージがあります。このブートイメージは実際に他のほとんどのルータとは違う完全な Cisco IOSソフトウェアイメージ、です。このイメージは常に起動できるようになっているはずですが、もし起動できなければ、ハードウェアに障害がある可能性があります。

[より詳しい手順については『ブート イメージを使用した ROMmon からのアップグレード方法』を参照してください。](#)

## 別のルータを使用した有効な Cisco ISO ソフトウェア イメージの PCMCIA カード

## [への移動](#)

別の同じようなルータ、か互換PCMCIAフラッシュカードファイルシステムが ( ある少なくとも1つの他のルータが[見れば PCMCIA ファイルシステム互換マトリックス](#)をあれば )、またルータを回復するのにそのフラッシュカードを使用できます。

- 両方のルータが同一 (同じシリーズ) ならば、他のルータのフラッシュカードを使用して、回復したいイメージをブートすることができます。 [これで有効なイメージを通常の方法でダウンロードできます\(ソフトウェアのインストールとアップグレードの手順を参照してください\)](#)。 Cisco 7000 ルータはダイナミック RAM (DRAM) から Cisco IOS ソフトウェアを実行するので、ルータが動作している間 PCMCIA カードを取り外しておくことができます。
- ルータの種類は異なっても、両方のルータに互換性のある PCMCIA フラッシュカードファイルシステムがあれば、そのルータを使って Cisco IOS ソフトウェア イメージをフラッシュカードにロードすることができます。 こうしてこのイメージを回復しようとしているルータに移動することが可能になります。

## [関連情報](#)

- [デバイス間でシステム イメージをコピーする方法](#)
- [ソフトウェアのインストールとアップグレード手順](#)
- [販売発表の 7000/7010 の終わり](#)
- [Cisco 7000 シリーズ ルータ ハードウェアサポート ページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)